

和歌山県景観計画における 太陽光発電施設等の取り扱い変更（案）について

◆変更理由

平成 24 年 7 月の固定価格買取制度開始以降、再生可能エネルギーは太陽光発電を中心に導入が進んでいます。また、固定価格買取制度の買取価格の引き下げ等に伴い、昨今、発電出力が 1,000kw を超えるメガソーラーの設置割合が増加しています。

太陽光発電施設は、従来の建築物や工作物とは形態意匠等が異なる人工的で異質な存在であり、また、メガソーラー化に伴い、周辺景観への影響が懸念されるところです。

こうした状況を踏まえ、県では、和歌山県景観条例施行規則及び和歌山県景観計画を下記のとおり変更するほか、新たに「太陽光発電施設等の設置に関する景観ガイドライン」（別添資料）を策定し、太陽光発電施設等の設置に対して、良好な景観形成の観点から一定の配慮を求めています。

景観法に基づく届出制度の見直し（和歌山県景観計画の変更）

◆現状

○太陽光発電施設は工作物の「その他の工作物」に分類され、**一定の高さを超える場合には、景観法に基づく届出が必要**

（届出対象行為）

区分		規模				
		一般区域	特定景観形成地域			
	バッファゾーン		国道 311 号沿道 国道 168 号沿道	天野集落、国道 370 号、480 号沿道及び鉄道沿線 世界遺産を結ぶ歩行者導線	左記以外	
工作物の新築、増築、改築若しくは移転等	その他の工作物	高さ 13m 超	全ての行為	全ての行為	高さ 10m 超	高さ 13m 超



◆変更案

○工作物の「製造施設等」の区分に太陽光発電施設を追加し、**一定の高さを超える場合に**加えて、**一定の築造面積を超える場合**にも、景観法に基づく届出を求める

（届出対象行為）

区分		規模				
		一般区域	特定景観形成地域			
	バッファゾーン		国道 311 号沿道 国道 168 号沿道	天野集落、国道 370 号、480 号沿道及び鉄道沿線 世界遺産を結ぶ歩行者導線	左記以外	
工作物の新築、増築、改築若しくは移転等	製造施設、貯蔵施設、遊戯施設等の工作物（プラント等、車庫等、汚物処理場等、 太陽光発電施設 ）	高さ 13m 超 または 築造面積 1,000 m ² 超（※）	全ての行為	全ての行為	高さ 10m 超 または 築造面積 500 m ² 超（※）	高さ 13m 超 または 築造面積 1,000 m ² 超（※）

※）太陽光発電施設においては、高さは見付けの高さを、築造面積は太陽光パネル、付属施設（パワーコンディショナ、キュービクル、送電施設等）及びパネル間隔を含めた外郭の水平投影面積とする。

届出制度の適用除外対象の見直し（和歌山県景観条例施行規則の変更）

◆現状

○工作物の高さが **1.5メートルを超えないもの** は景観法に基づく届出の**対象外**



◆変更案

○工作物の高さが 1.5メートルを超えないものであっても、**太陽光発電施設** その他広大に設置され、**周辺景観への影響が大きいと認められるもの** は、景観法に基づく**届出を求める**

■和歌山県景観条例施行規則（朱書き部が改正案）
（適用除外）

第7条第3項 条例第13条第4号の規則で定める行為は、次に掲げる行為とする。

(3) 工作物の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替え又は色彩の変更で、当該工作物の高さが1.5メートルを超えないもの（ただし、**太陽光発電施設** その他**広大に設置され、周辺景観への影響が大きいと認められるものを除く。**）

「太陽光発電等の設置に関する景観ガイドライン」の策定

現行の景観形成基準は、工作物全般を想定した定性的な内容であり、必ずしも太陽光発電施設に特化した内容となっていないことから、太陽光発電施設の設置に際し事業者が**景観に配慮した事業計画を策定できる**よう、配慮すべき事項を明確化した**景観ガイドライン**を策定する。

具体的には、**景観計画区域全域に緩やかな規制**をかけた上で、景観上特に重要な地域である**特定景観形成地域については上乘せ**で景観に対する配慮を求める。

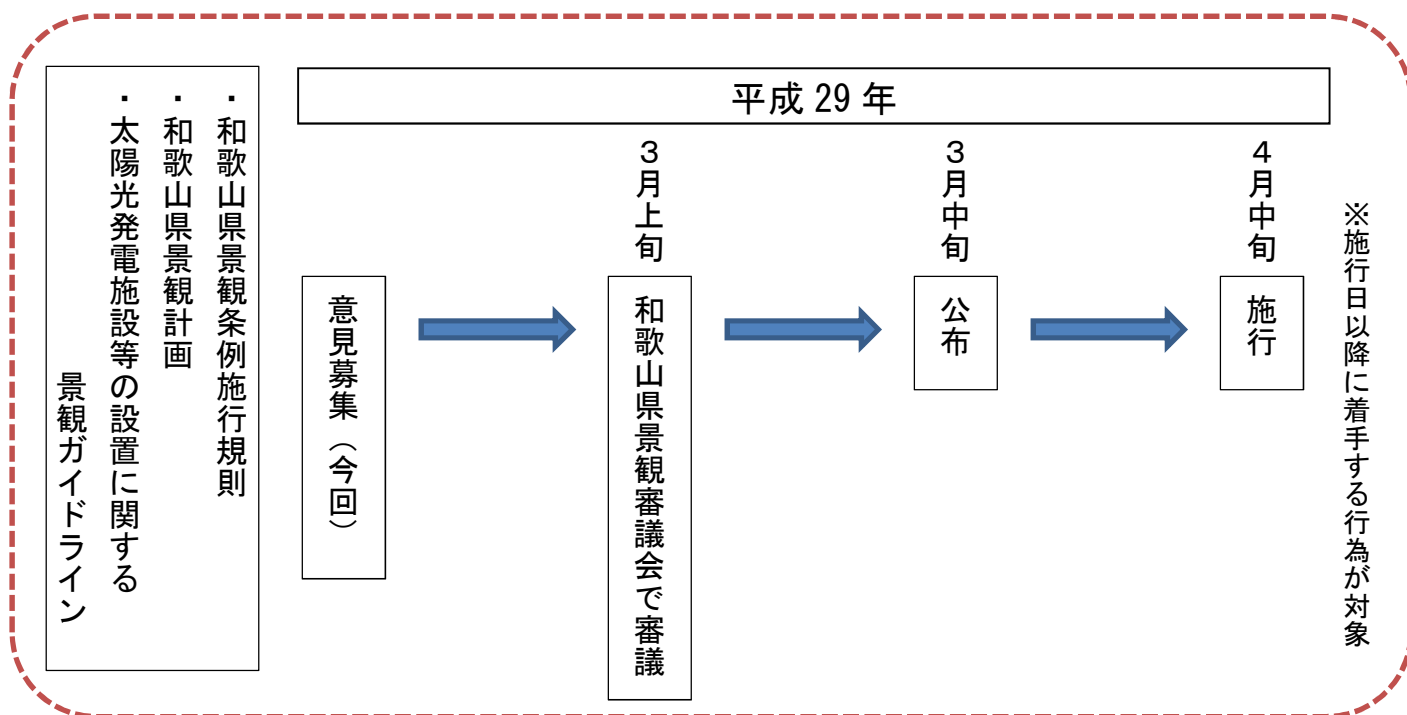
◆景観ガイドライン(案)の概要

項目		基準
一般地域	太陽光パネル 配置	○交通量の多い道路等から容易に望見できる場合は、地形に応じパネルの 向きや傾斜を揃える 。 ○文化財等との 近接を回避 又は 樹木等による緩衝帯 を設置。
	形態 意匠	○材質は 低反射性 のものとする。 ○模様が目立たないものとする。
	色彩	○色彩は 黒色 又は 濃紺色 とし、 低明度 かつ 低彩度 の目立たないものとする。 ○交通量の多い道路等から容易に望見できる場合、フレームの色彩はパネルと同色か 黒色 又は 濃紺色 とし、 低明度 かつ 低彩度 の目立たないものとする。
	附属設備 色彩	○変電設備等の附属設備は、 周辺景観と調和 した形態色彩とし、 低彩度 で統一。
	緑化、目隠し	○樹木の伐採は、必要最小限とする。 ○交通量の多い道路や集落に隣接する場合、存在感を軽減させるための 植栽 又は 塀 を設置。
維持管理	○施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど適切に維持管理。	



特定景観形成地域	太陽光パネル 配置等	○主要な眺望点から容易に望見できる場所や世界遺産又は幹線道路から容易に望見できる山の斜面に設置する場合 (1) 色彩は フレームも含め黒色 又は 濃紺色 とし、 低明度 かつ 低彩度 の目立たないものとする。 構造体は 焦茶色 。 (2) 分散配置 や 樹木の活用 等人工物の存在感を軽減。
	緑化、目隠し	○世界遺産から200m以内の範囲（バッファゾーン含む。）に設置する場合、 容易に望見できないための植栽帯等 を実施。

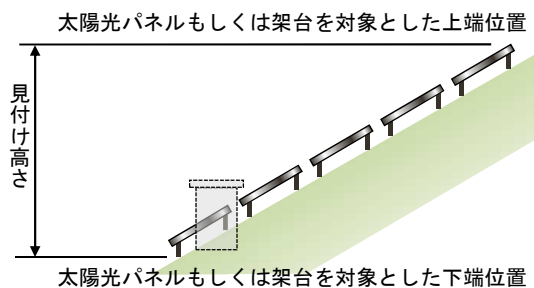
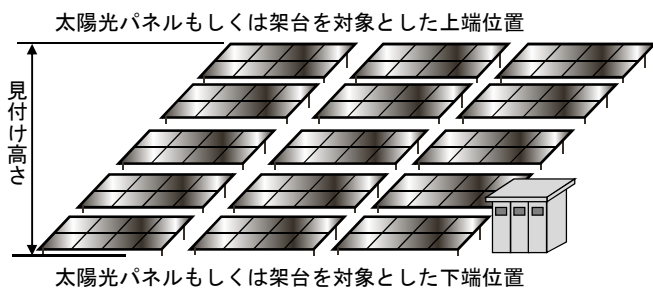
今後の予定



【参考】太陽光発電施設における高さ及び築造面積の取り方

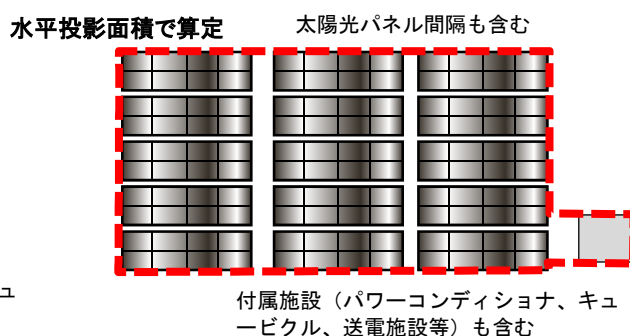
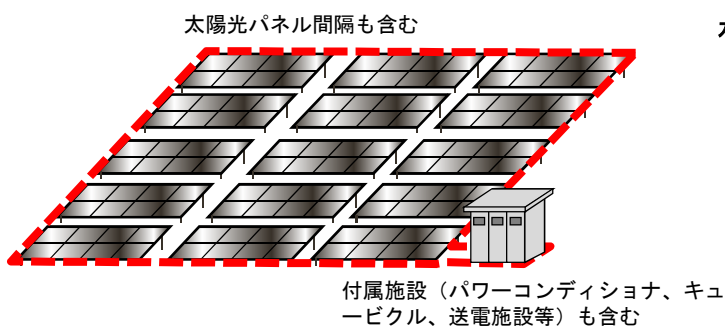
① 太陽光発電施設における高さ

太陽光パネルもしくは架台を対象とした上端と下端との見付け高さとする。






② 太陽光発電施設における築造面積

太陽光パネル、付属施設（パワーコンディショナ、キュービクル、送電施設等）及びパネル間隔を含めた外郭の水平投影面積とする。

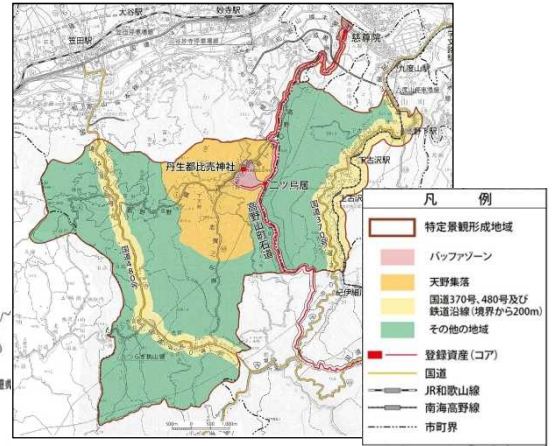


【参考】和歌山県景観計画の対象区域

凡 例	
	景観計画区域
	特定景観形成地域
	他の景観行政団体の区域



高野山町石道周辺

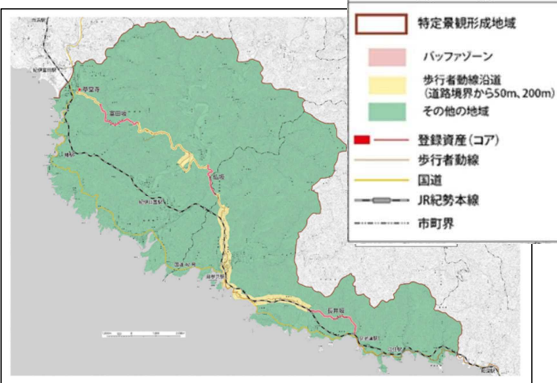











凡 例	
	特定景観形成地域
	バッファゾーン
	天野集落
	国道370号、480号及び 鉄道沿線(境界から200m)
	その他の地域
	登録資産(コア)
	国道
	JR和歌山線
	南海高野線
	市町界

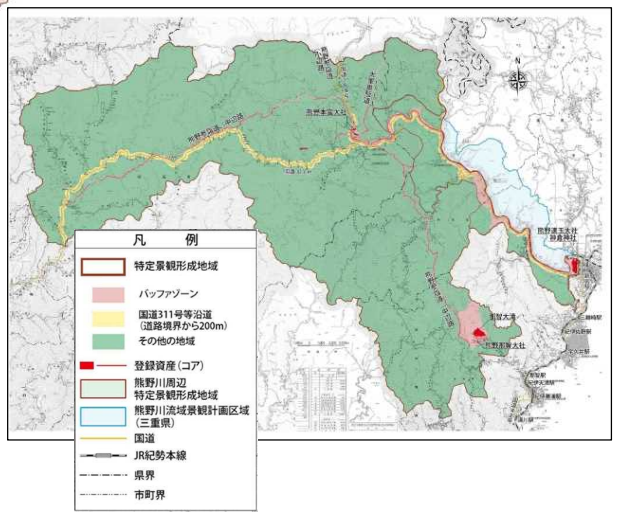
熊野参詣道(中辺路)





熊野川周辺

熊野参詣道(大辺路)



凡 例	
	特定景観形成地域
	バッファゾーン
	歩行者動線沿道 (道路境界から50m, 200m)
	その他の地域
	登録資産(コア)
	歩行者動線
	国道
	JR紀勢本線
	市町界



凡 例	
	特定景観形成地域
	バッファゾーン
	国道311号等沿道 (道路境界から200m)
	その他の地域
	登録資産(コア)
	熊野川周辺 特定景観形成地域 (三重県)
	熊野川流域景観計画区域 (三重県)
	国道
	JR紀勢本線
	県界
	市町界